

『ダナ・パーラミター』

禅マウンテン・モナスタリーにおける社会福祉活動の報告

横浜善光寺留学僧 遠藤博因

去る平成七年十二月十六日、禅マウンテン・モナスタリーにおいてダナ・ダイナー（コミュニケーション・ギャザリング）と称する社会福祉活動が行われました。ご承知のようにサンスクリット語のダナという言葉は、日本語の檀那という言葉にもなっているように、本来の語意は施しや布施を意味します。そして、ダナ・パーラミータ（波羅蜜）とも言われるように、我々佛教徒の実践徳目の一つでもあります。またこの

ダナという語は英語ではドネーション（寄付）と訳されており、発音が似かよっているところが興味深いところでもあります。

さてこの催しは今年で八回目を数え、禅苑の近隣に住む経済的に恵まれない人々を招いて、クリスマスの楽しい一時を過ごしていただくというのが目的です。準備には約一ヶ月前からこの禅苑の雲水修行者、長期参籠者が中心となって、福祉施設への案内、隣接地域の公共揭示

板へのポスター貼り、またこの催しに協賛していただけるよう地域の団体や個人に金銭や品物でのドネーション（ご喜捨）を呼びかけました。その結果約百五十にものぼる企業・商店・個人の方々からの金銭や品物（食料品や生活用品）でのご喜捨をいただきました。また数日前より約二十名の参禅会員のボランテニアが加わり、ダイニングホールの飾りつけ、プレゼント（ご喜捨による衣類や日用品、子供の玩具など）の包装、当日の食事の下準備等に追われました。

当日は昼と午後四時の二回に分けて、二地域より人々を招きました。お昼は、車で四十分程のキングストンという街より、バス会社のご喜捨により大型のスクールバスを二台運行してもらい、午後の四時も車で二十分程のウッドストックという街より、バスとワゴン車で人々を招き迎えました。集まった人々はナーシングホームと呼ばれるいわゆる老人ホームの方々、また

州より生活援助を受けているロイインカムのの方々、そして一般にシエルターズと呼ばれるホームレスの方々。シエルターというのはホームレスの人々に一晩ないし数日間夜の宿泊のみを提供する施設でありアメリカではよほどの田舎を除き、公共、私設ともどもごく一般的にあるそうです。またホームレスの人々は、このような施設を点々としているというのが現状であるようです。お昼と夕方あわせて約三百名の方々が集まり、一人一人紙皿を持って給仕のテーブルに並んで、ダイニングホールで食事をし、ボランテニアによるクリスマスソングのバンド演奏などで賑やかな一時を過ごしていただきました。

この行事を通してアメリカ社会のほんの一面ではあります。が体験することができ、この禅苑の雲水修行者や参禅者の皆さんからも、この国が抱える人種や貧富の格差の問題について聞く

ことが出来ました。まだまだこの地域に住んで
いながら、ここに来ることも出来ない、情報も
得ることも出来ないでいる人々もたくさんいる
ということですよ。



我々は「上求菩提、下化衆生」という誓願を
唱えながらも、いかに実践するかということに
ついてはなかなか答えができませんが、改ためて
考えさせられる経験となりました。